

早稲田 岳文広報

第五十六号

発行：早稲田大学岳文会OB会
発行日：平成25年10月
事務局：

TEL：
メール：
<http://ob.gakubunkai.com/>

活動報告

夏合宿報告

54期 那須 俊彬

私がこのOB広報という場を借りて筆を執るのはおそらく最後だと思いますので、夏合宿報告を兼ねまして、拙筆ではありますが私の岳文会に対する思いを書き連ねたいと思います。どうかしばらくお付き合いいただければ幸いです。

私が岳文会と出会ったのは今から2年前の4月下旬。その年はまだ記憶にも新しいかと思いますが、かの東日本大震災が起きた年でした。授業開始がゴールデンウィーク明けとなり自宅で怠惰な生活を送っていたことをよく覚えています。4月中旬に新歓活動が始まるとあって、意を決し大学に行ってみた時の衝撃ときたら。とにかく人の多さに圧倒されました。見知らぬ人が奇怪な言語を吐きながら自分に迫ってくる様は恐怖という言葉以外には述べようがありません。こと愛媛県という田舎からでてきた孤独な自分にとっては訳の分からないことだらけ、不安で仕方ありませんでした。兎に角何かに参加しなくてはと思い、勇気を出して行ったスノーボードサークルのコンパでは全く相手にされない始末。自分に合うサークルは見つからないのかなと心配していた時に、岳文会を見つけました。対応してくれた先輩はとても優しく、大学という場で初めて心から安心してお話することができました。コンパでもとても居心地の良いひと時を楽しませていただき、次もまたここに来よう、そう思いました。

岳文会で出会うもの全てが新鮮で刺激的でした。心優しい先輩方に、優美で壮麗な山景色、魅惑的なalcohol飲料、そしてかけがえのない個性的な同期。サークルが楽しくて楽しくてしょうがなく、多少の勉強時間を犠牲にしても岳文会のイベントに参加しました。そうして迎えた初の夏合宿。今までない期待感高揚感を胸に出発しました。結果は悪天候により敗退。悔しい気持ちでいっぱいでしたが、そんな逆境でも登山経験の少ない私たち1年生を力強く支え、励ましてくれた先輩方に強く憧れました。皆が苦難を乗り越え上高地に集結し、OBの方々も交えた集中式にてお互いの健闘をたたえあう様に強く感銘しました。岳文会のことますます好きになり、行われるイベントには欠かさず参加するようになりました。

そうして年月が経ち、私は幹事長になりました。ついこの間まで新入生としてひょこひょこと先輩の後をついていっていたと思ったら、時の流れは不思議なものです。私が一年生の頃憧れた先輩方のように自分はなることができたのでしょうか。後輩達は自分のようにサークルを楽しんでくれているのでしょうか。それは私にはわかりません。今の私は3年生であり、幹事長ですから。ですが、学生生活において無限にある可能性の中からこの岳文会を選んでくれた後輩達に、後

悔だけはさせないよう、この半年間尽力したつもりです。「楽しいです」その一言が聞ければ、それだけで報われるかな、と思います。後でこっそりと聞かれました。自分の彼方にいる先輩方には到底勝てる気は致しませんが。

報告が遅くなりましたが、今年度夏合宿の集中式は残念ながら中止となってしまいました。楽しみにして下さっていたOBの皆様、本当に申し訳ございません。しかし、一昨年を思い出させる悪天候の中、現役夏合宿参加者99名、皆無事に、元気に、上高地に帰ってくることができました。それだけで私としては満足のいく夏合宿でありました。毎年のOBの皆様からの多大なご助力、本当に有難うございます。おかげさまで今年も全員無事に夏合宿を遂行することができました。重ねて御礼申し上げます。

間もなく私たち54期は現役岳文会の一線を退き、幹部学年の座を後輩に譲ることとなります。総勢100名を越え、過去最大規模となりつつあるサークルの運営は決して容易いものではありません。失敗することも沢山あるかと思えます。しかし、多少の困難には負けない強い精神を持つ後輩達です。僭越ながら安心して見守っていただければと思います。どうかこれからの岳文会を率いる後輩達の応援をよろしくお願いします。

乱文にて失礼致しました。



文学散歩

世田谷文学散歩 ―長谷川町子の愛した世田谷―

48期 岩本 悠

今回の文学散歩は、非常に喜ばしいことに、12期から48期までの総勢16名の大所帯で、そのうちなんと9名が女性という、いつにもまして華やかな文学散歩となりました。聞くところによると、参加人数が最高記録とか。ご参加くださいました皆さま、誠にありがとうございます！

9月22日(日)13時。集合場所の桜新町駅西口に着くと、「サザエさんの町」の名にふさわしく、サザエさんをはじめとするあの国民的漫画のキャラクターのモニュメントが迎えてくれました。これらは時々、波平さんの毛が抜かれてしまうことでニュースになるのですが、ご存知でしょうか。今回は、頭の真中から生えたしっかりとした毛を1本確認でき、私は人知れず安堵しておりました。

駅から西に歩くと、すぐに「サザエさん通り」と呼ばれる桜新町商店街が見えてきました。サザエさん通りは、日曜日であったせいか定休日のお店も多くありましたが、それでもアニメのあのオープニング曲が鳴り響いており、実に楽しい気分にさせてくれました。

商店街を抜けてまず我々一行が向かったのは、長谷川真知子美術館です。館内には、磯野家のミニチュア模型が展示されており、今では珍しくなった昔ながらの立派な日本家屋の様子を皆で眺めながら、「なかなか立派な家だなあ」と方々で感嘆の声が漏れました。また他に、長谷川姉妹が少しずつ集めた美術品がコレクションされていました。これらコレクションは、作家の名などは重視せずに、二人のインスピレーションの赴くまま収集した品々だそうで、色鮮やかな色彩の作品が印象的で、特に季節に併せて飾られた紅葉の絵画や焼き物には目を見張るものがありました。

美術館を出て今度は馬事公苑の方向に歩いていると、いかにも世田谷らしい街並み、つまりは大きな邸宅の並ぶ住宅街に入っていくわけですが、住宅の中にも公園や緑が多くて、やはり住みよい街だなあと感じました。馬事公苑まで着いたら、少し休憩。そこは JRA が運営する馬の施設であり、公園としても解放されているので、私たちが訪れた時には、ちょうど子供たちが元気にポニーに乗って駆けている姿も見られました。

馬事公園の正門を出ると、すぐ目の前に有機野菜を売る看板とうっそうと茂る温室が見えてきます。それが、東京農業大学のバイオリウムです。バイオリウムは、「食と農」の博物館と併設しており、入館無料とは思えないくらい見所が満載でした。館内の温室では、カメレオンなどの生物や熱帯の植物が観察できました。さらに、バイオリウムを抜けて奥の博物館に行くと、軍鶏のはく製や日本全国の日本酒の数々、味噌や麴の作り方などが展示されていました。少し文学とは離れてしまいましたが、非常にためになりました。こうした新たな場所を見つけるのも、散歩の楽しみ。たまにはいいですね。

今回は、バイオリウムから今度は世田谷通りを通って、宮の坂勝光院へ足を運びました。正面から入ると、世田谷百景にも選ばれている立派な竹林が実に美しい所でした。勝光院は、世田谷城主であった吉良氏の菩提寺でもあり、吉良家代々の墓も拝見しました。そして続いて向かった豪徳寺は、招き猫伝説で有名な寺です。境内には、願いをかなえた招き猫が無数に置かれており、何百体と並んだその白い姿は少々不気味でもありましたが、それぞれ猫の顔が違って見えて、中には両手を挙げた強欲な招き猫もいて、私たちの笑顔を誘ってくれました。豪徳寺には、井伊直弼の墓が眠るということで、そちらの方も併せて訪れました。

そして、世田谷城址公園を過ぎて松陰神社へ。神社には、改葬して建てられた吉田松陰の墓所と山口県にある松下村塾を模した建物もあり、どちらも見せていただくことができました。なんだか安政の大獄の因縁深い散歩となってしまいました。

最後は三軒茶屋のお店で皆さまと一緒に一杯。私にとっては、初めて文学散歩を企画して、見所は少なくないか、距離は長くはないかと心配していたので、無事に楽しく終えることができホッとしました。人は変われど、会の雰囲気が変わらず、世代を超えて飲むことができ、不思議ないい気分になりました。こうして卒業した後に、幅広い世代の先輩方と話しながら、休日東京の街を歩けることが素敵だなあと感じました。素晴らしいことです。では、またお会いできますように。謝謝。

実施日：9月22日（日）13：00～

ご参加の皆さま：

瀬川（8期）・響田（12期）・片山（12期）日下（13期）・田村（14期）・佐々木（14期）・奥村（14期）・岡（14期）・片山（14期）・後藤（14期）・吉田（14期）・西子（44期）・江国（45期）・小西（45期）・設楽（48期）・岩本（48期）【敬称略】

2013・14年度 岳文OB会 行事計画

実施日	行事内容	集合場所・時間	担当者	申込締切
11月3日 （日）	早稲田スポーツ観戦 東京六大学野球「早慶戦」	J R 信濃町駅 午後0時	高橋 （44期）	11月1日 （金）
11月10日 （日）	ハイキング 鳥沢から高畑山、倉岳山へ	中央本線鳥沢駅改札 午前9時	田村 （14期）	11月5日 （火）
11月23日 （土）	総会			
12月1日 （日）	早稲田スポーツ観戦 関東大学対抗戦「早明戦」	J R 千駄ヶ谷駅 午後1時	高橋 （44期）	11月29日 （金）
12月7日 （土）	就職懇談会			
4月6日 （日）	文学散歩 はけの道を巡る	J R 国分寺駅改札 午前11時	日下 （13期）	
共通ルール ①ハイキングは、昼食（お弁当）、行動食、装備など各自準備ください。 ②日程は、変更、中止があります。参加の場合は、事前に必ず連絡願います。 ③ご家族、友人、現役の方の参加も大歓迎です。				

11月：O・B会総会のご案内

O・B会会長 轡田 英夫

2013年のO・B会総会を下記の要領で実施いたしますので、皆様お誘い合わせの上お集まりいただきたくご案内申し上げます。

記

- 日時 11月23日(土)
午後1時30分 受付開始
午後2時 開会
午後3時30分 閉会(予定)
- 場所 早稲田奉仕園内日本キリスト教会館
6階 ABC会議室
- 議題
 - 2013年会計報告、活動報告、
岳文基金会計報告、会計監査報告
 - 2014年人事案、予算案、
活動予定案について
 - 現役からの報告
 - その他

- 交通 高田馬場駅下車
早稲田大学行学バスにて西早稲田下車3分
現役の学生が道案内にっております

なお、議事終了後、講演会をおこないます。
(午後2時40分ごろから)
・テーマ 「外交の現場に立ち会って」(仮題)
・講師 27期 青山健郎氏(外務省職員)

懇親会のご案内

総会終了後懇親会をおこないます。懇親会のみの方の参加の方も遠慮なくおいで下さい。

- 場所 早稲田大学 大隈ガーデンハウスカフェテリア
大隈講堂の脇を奥へ入った突き当たり
- 時間 午後4時半から2時間程度
- 費用 5,000円
(但し、2014年分会費3,000円を申し受けますので8,000円ご用意下さい。できるだけおつりの無いようご用意ください。)



12月：就職懇談会のご案内

O・B会会長 轡田 英夫

今年の就職懇談会を下記の要領で行います。多くのO・B、O・Gの皆様のご協力をお願いします。就職活動に当たっての心構えや、就職活動を始めるにあたってどのようにしたらよいか、来年度の就職をめぐる状況などを中心にして懇談したいと考えています。

就職活動を近年された若手の皆さんの参加をお待ちしています。

記

- 日時 12月7日(土) 午後12時50分～5時
- 場所 新宿スポーツセンター大会議室(戸山公園内)
- 交通 地下鉄副都心線 西早稲田駅出口3番(新宿寄り) 徒歩3分
JR 高田馬場駅 徒歩15分
(早稲田大学理工学部の高田馬場よりにあります)



就職懇談会終了後、懇親会を行います。懇談会では話し足りなかったことなどお話しするのによい機会かと思えます。

なお、懇親会のみ参加も可能ですので、時間の都合のつく方はおいでください。

1. 場所 早稲田大学 理工学部カフェテリア
(理工学部57号館内)
(西早稲田駅出口3番で
理工学部の構内に出る出口そば)
2. 時間 午後5時半から2時間程度
3. 会費 5,000円

ハイキング

◇鳥沢から高畑山、倉岳山へ

—富士の眺めで知られる高畑山と

古い交易路である立野峠、穴路峠—

1. 開催日 11月10日(日)
2. 集合場所 中央本線鳥沢駅改札口 午前9時
3. コース 鳥沢駅(2:20) 高畑山(0:35) 穴路峠(0:25)
倉岳山(0:25) 立野峠(1:00) 梁川駅
歩行4時間45分
4. 持物 雨具、昼食、水筒、タオル、その他必要と思われるもの
5. 費用 交通費1,640円
(新宿起点京王、JR利用の場合)
温泉入浴料850円 懇親会費3,000円程度
6. 注意事項 現地の降雨確率が50%を超えたときは中止とする
7. 申込 11月5日(火)までに、14期田村まで
・メール:
・携 帯:

中央線の鳥沢駅から歩き始め、堀之内集落を抜けてから虹吹橋で桂川を渡る。小篠集落を通り過ぎると小篠貯水池に着く。ここから緩やかに登って行くと馬頭観音像の置かれた分岐に出る。穴路峠に向かう道を左に見て、まずは高畑山(982m)をめざしてひたすら登って行く。三等三角点のある高畑山山頂からは、富士山の美しい姿が眺められる。ここから急坂を下り、尾根を上下しながら天神山を越えると穴路峠である。ここから急坂の登りが続くが、やがて倉岳山(990m)山頂に出る。二等三角点の山頂からふたたび急坂を下って行くと立野峠に着く。古くからの交易の道であるこの峠は、穴路峠と同様いかにも「峠」らしい雰囲気を持っている。立野峠からジグザグの急下降が続き、やがて沢沿いの道となる。立野の集落を抜け桂川を渡ると梁川駅に出る。ここから藤野まで行き、温泉とビールで疲れを癒す予定である。

文学散歩

◇武蔵野夫人の舞台、国分寺からはけの道を巡る

1. 開催日 2014年4月6日(日)
2. 集合場所 JR中央線 国分寺駅 改札 午前11時
3. コース 国分寺駅—日立中央研究所—真姿の池湧水群—お鷹の道—国分寺跡—殿ヶ谷庭園—貫井神社—滄浪泉園—金蔵院—はけの森美術館—武蔵野公園—新小金井駅(解散)
4. 申込 13期日下まで
・メール:
・携 帯:
・自宅:

大岡昇平の小説『武蔵野夫人』は、国分寺崖線が通る地域

が舞台になっています。古代多摩川が作ったこの「はけ」と呼ばれる段丘崖には、清らかな湧水が流れ、武蔵野の雑木林が広がる自然豊かな場所で、小説の中でも紹介されています。今回は、この崖線に沿って続く湧水の源と「はけの道」を中心に小説の世界をじっくりと味わいながら歩きます。

早稲田スポーツ観戦

スポーツ観戦を企画いたします。多くのOB、OGの皆様と一緒に伝統の早慶戦(野球)、早明戦(ラグビー)を観戦いたしましょう。

◇東京六大学野球「早慶戦」

1. 日時 11月3日(日) 13時試合開始
2. 場所 神宮球場
3. 集合 JR信濃町駅 12時
4. 幹事 44期 高橋力也
参加希望の方は11月1日(金)までに高橋へ連絡をお願いします。
・メール:
・携 帯:
5. その他 一般席での観戦予定となります。
試合終了後、懇親会を予定しております。

◇関東大学対抗戦「早明戦」

1. 日時 12月1日(日) 14時試合開始
2. 場所 国立競技場
3. 集合 JR千駄ヶ谷駅 13時
4. 幹事 44期 高橋力也
参加希望の方は11月29日(金)までに高橋へ連絡をお願いします。
・メール:
・携 帯:
5. その他 一般席での観戦予定となります。
試合終了後、懇親会を予定しております。

関西のOBから

この2年半 —地元に戻って—

12期 岡田 敏範

NHK朝ドラ「あまちゃん」は面白かった。これほど東京と地元のコントラストを鮮明にした作品は無いんじゃないか。小泉今日子扮する春ちゃんは娘のアキちゃんを地元に残して東京に戻っていったけど、地元との深い絆に安心しきってるよね。正に名作だった。9月末で終わってしまい、寂しい思いをしているんだ。

ボクも2年半前に帰ってきた。帰ってきたところは三重県津市、市といっても平成の大合併で市に組み入れられた郡部の田舎町、いまは津や松阪に勤めにゆくサラリーマンが増えたけど、もともと農業と林業しかないところ。帰ってみて知ったのだが、増えているのは空き家と老人ばかり、児童の数は減少一途。過疎の危機にさらされている。

帰って10日目に大震災。被害はなかったものの、静かに第2の人生の設計をしようと思っていた矢先に娘と孫が疎開してきて、大騒ぎ。女房との2人暮らしには田舎の家は住みにくい。連休過ぎに近所の大工をお願いしてリフォームを始めたところ、大工もサッシ屋も左官屋もブリキ、電気屋までもが70歳過ぎの好々爺。見ているだけでは退屈なので「オレにも手伝わせろ」とバールを持って天井を壊し始めたら、怖ろしい程の土埃が降りかかってきて、鼻の穴まで真っ黒け。屋

根に登って割れた瓦を調べていたら、その何倍もの瓦を割ってしまって、折からの雨で部屋の中まで水びたし。先行き不安、スリル満点のリフォームも正月直前にはようやく終了して、新しい年がやってきた。

サー、今年からは羽根を伸ばして遊びまわるぞと、新たな期待に胸を膨らまして春を迎えた頃に下腹部に激痛を覚え、医者に行ったら精密検査。「ちょっとヤバそうだよ」との見立で入院検査。「ガンかもしれない」と言われて大学病院の泌尿器科に駆け込んで、切腹覚悟で診察台に横たわったところ、「無さそうだよ」のありがたい御託宣。助かった、と喜んだ時にはすでに晩秋の風が吹いていた。山もゴルフもお預けの1年で、稔りがあったのは秋に蒔いた大根だけ。食べごろ手前の白菜は、ある朝起きたら根元だけ。美味しいところが失くなっている。犯人は???、杓としてわからない。

そしてまた、鍋の季節が過ぎ去って春がきた。よちよち歩きの民主党が歩行不能でぶっ倒れ、またかよやっぱりの自民党がこれ見よがしに出てきたけれど、田舎暮らしの退職オヤジにはカエルの面に小便の世界。そうだ、結石も治ったんだと期待が湧き上がる。

5月、全山ツツジで覆われる久住山に行ったけど、ツツジは蕾で山は雨。坊がつるも人影まばらで寂しいけれど静かだいい。

6月、山仲間のヤマちゃん和大杉谷へ。この日も雨で、上からヒルも降ってくる。雨具の中まで侵入し、風呂場で互いにヒル退治。へまして足首の血管を破ってしまって、布団のシーツに日の丸マーク。翌朝、小屋のオヤジに散々の小言を食らったが、バイトの娘さんの可愛いこと。苦あれば楽ありの格言通り。

この後も、残雪と水芭蕉の美しい火打山、御嶽、白山の修験の山、やっぱり9月は涸沢にと、自然愛好・現実逃避の山旅が続いている。

涸沢ヒュッテのテラスから生ジョッキを傾けながら仰ぎ見た3000mの稜線山並、北穂から涸沢岳、奥穂、前穂と渡り歩いて「湯の香恋しい奥飛騨」で、首までどっぷり湯に浸かり、演歌の世界に思いを馳せる幸せはちょい悪オヤジの特権か。かつては銀座のネオン花、今はいで湯の湯の花よ。ちょっと匂うがたまらない。

近況報告

12期 福盛 孝明

卒業していつの間にか40年が過ぎてしまった。色んなことがありそれなりに真剣に過ごした積もりだが、あっという間の出来事のように思え「過ぎてしまった」というのが現在の心境です。

昭和48年卒で岳文会12期の福盛と申します。昨年8年間の東京での単身赴任生活を終え、現在は兵庫県川西市に居住し、大阪の梅田に勤務しています。

昨年までは神楽坂で単身赴任であったこともあり、大学のキャンパスにも散歩がてら出かけ、岳文OB会の日帰り山行や文学散歩にも頻繁に参加し、同期・前後の世代の人達との交流で、「楽しくて、面白くて、昔と何も変わらないA君・B君で・・・」40年間の時の流れを忘れさせることが多かった。

現在は、大阪なのでOB会行事にも出かけ難く、岳文同期8名の1~2泊の旅行が最大の楽しみです。これについて少し説明しますと、卒業して翌年から開始し(その時は確か京都)、夏のオリンピック開催年に実施していましたが、いつの間にかお互いそそこの齢になったし何があるかわからないからと、冬のオリンピック開催年にもしようと思われ隔年実施になり、さらに今年からはいよいよ齢だからということで毎年実施となりました。今年は11月に式年遷宮の伊勢神宮・鳥羽に出かける予定(昨年は松江・世界文化遺産の大森銀山)。怠惰な連中の集まりなので特別な企画もなく、ただ集まって、そこら辺の名所旧跡を見て旅館で酒を飲み、挙句の果て年甲斐もなく寝床の取り合いをする(とんでもない野郎の隣は避けたい)

だけのことですが、昔と違い皆酒が弱くなってさっさと収まってしまう。

最近思うことは、時代の経過のなかで(例えば卒業後40年間の経過で)、かつてのその時々において妥当(多数意見)だとされて来たことが必ずしもそうではない、とされる事が非常に多いことに驚く。政治向きの話が最も解り易いが、「自衛隊は違憲である。軍備は最小限に留めるべきだ」、「学力テストは競争心を煽るだけで子供の創造性や自発性を奪う」、「日米安保条約は日本を戦争に巻き込み安全が保たれない」等々。時の移り変わりで日本を囲む国際的な政治的・経済的な環境が大きく変化するのであるから当然の帰結であり健全な姿であろうが、あれは一体何だったんだろうと当時の世論(朝日新聞世論か? 視野狭窄学生の思い込みか?)を思っている。

現在の興味は、2020年の東京オリンピックの開催であり、それまでは心身の鍛錬を重ねボケにも負けず元気で観戦したい。また、その頃には過去において妥当(常識)とされてきたことがもっと大きく変わっているだろう。例えば中国の政治経済体制がどういう理屈でどのように変化しているかも(変化していないかも)大いに楽しみだ。

近況報告

45期 吉田 圭

私は現在、大阪府内の中小企業の密集地である東大阪市という場所に住んでいます。治安や環境に多少の不安があるエリアですが交通や買い物の利便性がよく、今の生活が気に入っています。

元々は就職にあたって関西に本社を持つ企業に入ったことから、2006年に大学までの22年間住んできた関東を離れて関西へ移りました。「住めば都」とはよく言ったもので、行く前は地元を離れることに対して非常に不安がありましたが、住民の気質や食べ物のおいしさなどいいところが多数ありました。(特に関西風の薄味は地元の味より合っていました)

私の会社は約3年周期で異動があるため、一旦福井へ勤務地を変わり、一昨年より戻ってきて2回目の大阪ライフの最中です。そのタイミングで仕事の内容が大分変わり、ストレスをため込み体調を崩すことが多くなったため、これではいかんと私生活に潤いを求めるようになりました。

2012年に入ったころに一念発起し、皆に隠れて嫁さがしを開始。タイミングと幸運に恵まれ、兵庫のいちご農園の娘さんを貰うに至りました。結婚の際の公約として「将来は関西に家を買う」という内容を掲げていたため、今後ずっと大阪か兵庫の人間として生きていくことになりそうです。

今年の1月に結婚してからは不規則だった生活がいろいろと改善され、健康的に楽しく毎日暮らしております。

ただ、時々早稲田の街並みや味が恋しくなることも…(オトボケとか一休とか清龍とか!) 用事で関東に行く際には、これから是非いろいろと相手してください。宜しく願います。

兵庫県西宮市から近況報告

46期 池尻 弥生

早稲田大学を卒業して早6年半。卒業時にはまさか、数年後の自分が関西で暮らすことになるとは思ってもありませんでした。

私が今住んでいる兵庫県西宮市は兵庫県南東部の阪神地域に位置し、我が家のある南部の市街地からは、大阪・神戸の両都心へ電車で15分程度で行くことが出来ます。家の北側には六甲山がそびえ、また阪神タイガースの本拠地である阪神甲子園球場も徒歩圏内、そんな場所です。

ここに引越してきたのは去年末。結婚を機に、一生勤めるつもりで入った東京の会社を辞め、28年住んだ実家から家族や親戚一同と別れ、泣く泣くやってきました。慣れない土地での初めての専業主婦生活のスタート時には不安と、仕事を失くし仲の良い人達とも引き裂かれてしまったことに対す

る、少しの被害者意識もありました。

そんな時に声をかけてくれたのが、当時兵庫に住んでいた同期の三枝君でした。関西在住の岳文会の先輩・後輩方に声をかけ、飲み会を開いてくれたのです。当日は懐かしい顔ぶれで一杯。また、在学中には知り合えなかった後輩との出会いもありました。残念ながらその後ご近所付き合ひも出来ないうちに、三枝君は転勤となりメキシコに旅立ってしまいました。あの日関西で頑張っていたらしい岳文会卒業生の皆さんの姿を見られたことは、私に大きな勇気を与えてくれました。皆がそれぞれにキラキラと輝いて見えたのです。

それから数か月経った今では、縁あって住むことになったこの土地が好きです。思っていた人生とは違ったけれど、この場所で新たな一歩を踏み出す決意も固まりました。先日東京での結婚式を終えたのを機に関西で就職活動を開始し、その結果この9月から正社員として採用され、大阪のなんば駅近くで働き始めました。それまでの約半年間に及んだ専業主婦生活もとても充実して楽しいものでしたが、仕事を通してもっとこの土地の人達と関わりたい、そして一旦は遠くなった夢に向かってもう一度チャレンジしたい、との思いから再就職の道を選びました。

新しい仕事は想像以上に忙しく、今は慣れない業務に悪戦苦闘の日々です。けれど同僚やお客様に恵まれて、なんとか毎日笑顔で乗り切ることができています。毎日自分に向けられる沢山の関西弁の言葉も、温かく心に響きます。そして当たり前前のことですが、新しい職場では全員が私を結婚後の新姓で呼びます。まだ少し違和感はありますが、やっとこの土地で人生の再スタートを切れたような気がしています。

近況報告

47期 杉田 智史

いつもお世話になっております。47期の杉田智史でございます。この度は近畿地方からの近況報告をさせていただきます。と言いましても報告できるような活動もしておらず、個人的に最後に登った山は兵庫県神戸市は須磨区にあります「須磨アルプス(253m)」です。…山というか丘というか、ちょっとしたハイキングですね。そんな私は現在、武田薬品工業という会社にて「医薬情報担当者(MR)」として、病院の医師・薬剤師の先生方に医療用医薬品に関する情報をお届けする、という仕事をしております。業界柄なのか、山登りをしている先生は意外と多く、登山の話になっては岳文時代の夏合宿に想いを馳せて、気持ちだけは槍ヶ岳に登っているつもりでおります。

さて、この仕事をしておりますと医薬品の情報以外にも、日々の生活習慣にグサッとくるような情報にめぐり会うこともあります。例えば先日はこんなトピックスに出会いました。『■肥満の女性を対象に、1日当たりの総摂取カロリーを同等に設定し、朝か夜かのどちらかにカロリー摂取の比重を置いた食生活を続けさせた結果、夜の多量摂取に比べて朝の多量摂取の方がより大きな減量効果が得られた■』

いかがでしょうか？忘年会シーズンや飲み会の後のラーメンなど、これからも誘惑の多い季節ですが、そのツケはなかなか大きいようです。

いつまでも健康でいるために、自分自身も日々のちょっとしたケアや我慢を心がけたいものです。

新生活始めました

48期 奈島 陽子

私は今兵庫県の市役所で働いています。

3年前、東日本大震災のあった年に東京での営業の仕事を辞め、兵庫県に戻ってきました。その後2年程は実家で、自由気ままとは言えないものの、それなりに気楽な生活を送り、今年の春より兵庫県姫路市役所で働き始めました。

姫路市といっても、大半の皆さまにはピンとこないでしょうが、世界遺産の姫路城がある市と言えば、「まあ確かにそん

な城もあった気がするなあ・・・」と臆気ながらも思い出して頂けるのではないのでしょうか。(姫路城はそこそこ大きくて、見学のしがいがあるので、近くに立ち寄られた際は是非一度みにきてみて下さい)

さて、この姫路市ですが、世界遺産がある割りに田舎というか、さびれているというか……。ちょっと繁華街を離れると田んぼは多いわ、車がないと買い物も不便だわで、東京での学生生活の便利さをたまに思い出して懐かしんでおります。

そして、そんな田舎ならさぞかし山登りを楽しんでいることだろう、と皆様思われることでしょうか、正直このところ、山登りというものは全くしておりません。というのも、一緒に登山をする友人が近くにはおらず、一人で登る程の元気もはやないという……。OBの皆様方には今もバリバリ登山を楽しんでらっしゃる方も多いようですし、みんなとても元気で凄いなあと思っています。

本当に大学時代、あんなに登っていたのが嘘のようです。

しかし、兵庫県には氷ノ山という標高 1500m(兵庫県最高峰)もある山もあるので、いずれ誰かと挑戦してみたいなあとは思っています。

また、山には登っていませんが、岳文で培われたお酒好きは健在です。姫路駅おりてすぐに、兵庫県内の地酒を試せる試みというお店があります。一杯 300~500円くらいで、色んな銘柄の地酒を少しずつ楽しめる楽しいお店です。

もし岳文の皆様が姫路付近に遊びに来られた際は、氷ノ山に登ったあと、姫路城を見学し、地酒で一杯なんてどうでしょうか？

OB 会幹事会からの連絡

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

- ・加藤雅実さん(13期)が2013年3月8日に肺がんで亡くなられました。
- ・山口勝さん(4期)が、2013年9月24日に肺がんで亡くなられました。

平成 25 年度年会費について

—11/9(金)×切—

45期 小西麻子

会費の納入につきまして、日頃よりご協力賜りありがとうございます。早いもので今年度もOB総会を控え、年度の区切りの季節がやってまいりました。

皆様から納入して頂いた会費は、会報の作成・発送費や夏合宿・総会の運営の他、現役学生向けの就職懇談会や日々の活動の助成金として活用させて頂いております。

今年度の会費は11/9(金)までの受付分とさせていただきます。

52期については今年度分の会費納入は不要です。OB総会出席欠席のはがきのみ返送をお願いします。まだ今年度の会費の納入がお済みでない方は、お手数ですが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- 1) 一会員につき年額 3000 円
(夫婦会員の場合には一世帯につき年額 3000 円)
- 2) 本年は平成 24 年 11 月 24 日を平成 25 年度開始日とする
- 3) 振込口座

【当座】 00230-8-30118

又は 【普通】 店番 008 口座番号 6690731

同封の赤い振込用紙で郵便窓口もしくはゆうちょ銀行ATMでお振込みいただくと手数料が無料です。ゆうちょ銀行備付けの青い振込用紙もしくは他行からのお振込は手数料がかかりますのでご注意ください。